



なぞって練習

ここで、はどの虫も耳の
 そばへとまわって鳴くよう
 な風変わりな情趣だと
 源氏が思うのも、夕顔
 を深く愛する心が何事
 も悪くは思わせないの
 であらう。白い袷に柔
 らかい淡紫を重ねたは
 なやかな姿ではない、
 ほっそりとした人で、
 どこかきわだって非常
 によいところはな
 いが、繊細な感じのする
 美人で、ものを言う
 様子に弱々しい可憐
 さが十分にあった。

■ 参考

※ 袷 【あむせ】

※ 淡紫 【しやむじむせ】

※ 可憐 【かれん】

(青空文庫のフリガナより)